

HT1030 回路、基板デザイン変更のご案内

時下、貴社にはますますご発展のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品をご愛顧いただき、厚く御礼申し上げます。

さてこのたび技術的な改善のため、HT1030の回路、基板デザインを一部変更いたしましたのでご案内申し上げます。従来製品では、フラッシュメモリの内容書き換えのためにジャンパソケットを複数個差し替えなければならず、この差し替えのために組合わせた他の拡張モジュールをはずさなければなりませんでしたが、今回の改善によりスイッチ1つで切替可能となりました。このスイッチは基板周辺部から操作可能なため、配置によっては組合わせた他のモジュールをはずさずに切替できます。

このほかにもいくつかの設計変更がございますが、お客様がご設計になりましたHT1030の周辺回路等を変更する必要はございません。また基板デザインが変更されたHT1030は、旧基板製品とまったく同様にご使用いただくことができますが、JP4の設定が異なりますのでご注意ください。

末文ながら、今後ともHT1030をご愛顧くださいますようお願い申し上げます。

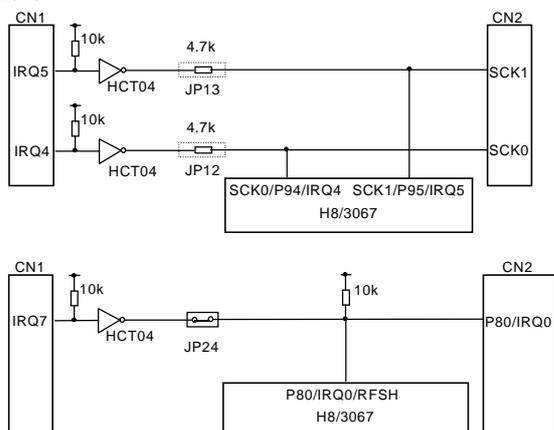
記

変更内容について

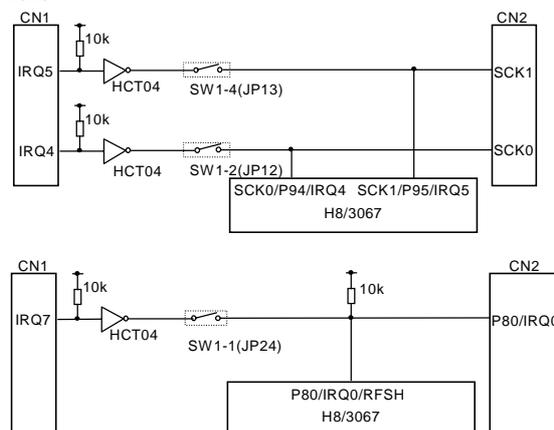
JP12, 13, 24

従来は DIP スイッチが使用されていましたが、新基板では JP12, 13 はチップ抵抗、JP24 はジャンパソケットとなりました。下記回路図をご参照ください。

●変更後回路



●従来の回路



モード設定

H8の動作モードはJP1, 2, 4を使用し、右表のように設定します。JP4の設定が旧基板と違いますのでご注意ください。なお通常JP4は2-3で使用しますが、JP4のジャンパソケットを取り外すとSW1によるブートモード切替が禁止され、誤ってブートモードに設定されることを防止できます。

動作モード	JP1	JP2	JP4
モード3	1-2	2-3	2-3
モード5	2-3	1-2	2-3
モード7	1-2	1-2	2-3
ブートモード	任意	任意	1-2

ブートモード設定

JP4が2-3の場合は、SW1のみでブートモード(フラッシュメモリの書換モード)に切替することができます。JP4を1-2に設定するとSW1の設定状態にかかわらず、常にブートモードとなります。またJP4のジャンパソケットを取り外すと、SW1によるブートモード設定が無効となります。なおSW1の追加にともない、JP1, 2, 4, 14とCN7の位置がCN1方向に2.54mm移動しました。また従来ブートモード設定に必要なだったJP5の切替は不要になりました。

出荷時 JP 設定状態(変更分)

JP2	SW1
1-2	上向き

SW1の設定は、輸送や梱包の状況により下向きになっている場合もありますのでご了承ください。(SW1を下向きにしたとき、H8の動作モードは5になります。)

その他

- ・RTCのバックアップ回路が変更となっておりますが、使用方法は従来通りです。
- ・2003-11版マニュアルCD収録の回路図DXFファイルに誤りがあり、JP4の1ピンと3ピンが逆になっています。お詫びして訂正いたします。正しい回路図PDFファイルは弊社ホームページ <http://www.umezawa.co.jp>よりダウンロードできます。

以上

※ご不明の点がございましたら TEL/FAX0120-024768(フリーダイヤル) Email info@umezawa.co.jp までお問い合わせください。